

4-6. 親としての責任を果たし終える時期(Q17)

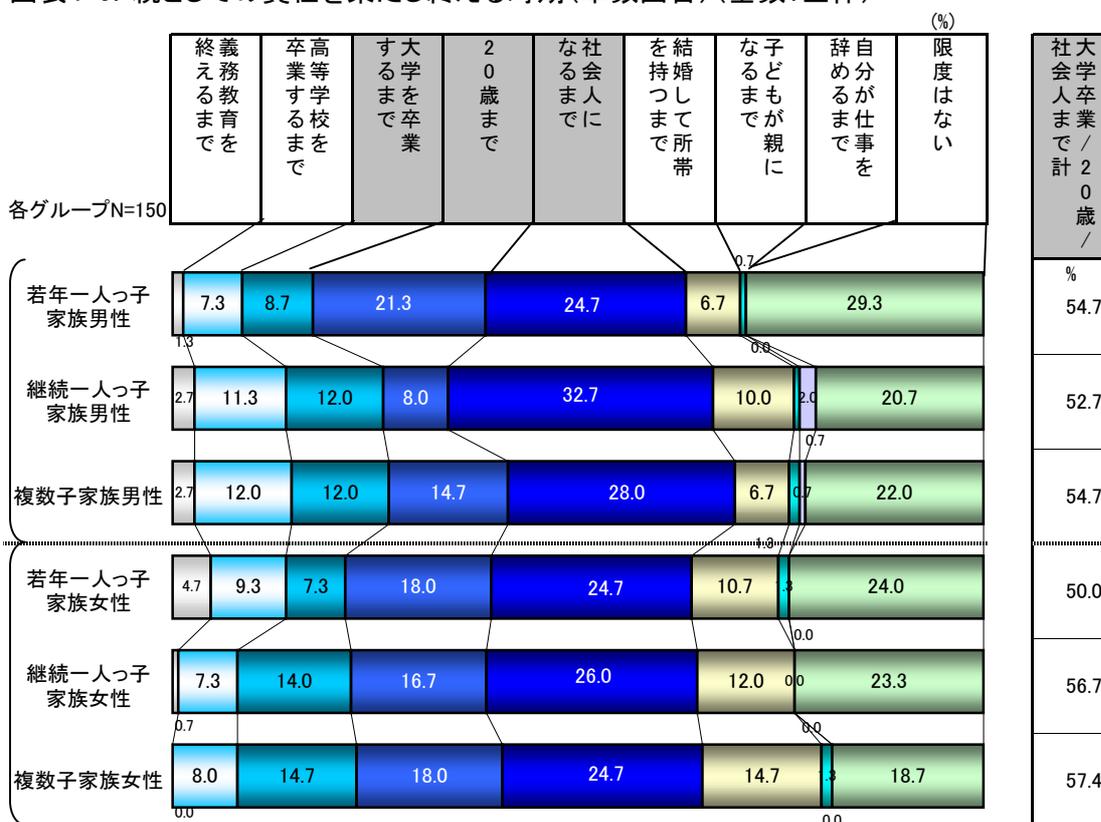
【男性】

どのグループも「大学を卒業するまで」「20歳まで」「社会人になるまで」のいずれかを答える人が半数強と多く、大きな違いはない。但し、「限度はない」と答えた人の割合は【若年一人っ子家族】では3割弱みられ、多グループに比べ多くなっている。

【女性】

女性も「大学を卒業するまで」「20歳まで」「社会人になるまで」のいずれかを答える人が多いことに変わりはない。

図表4-6. 親としての責任を果たし終える時期(単数回答)(基数:全体)



4-7. 子どもに身につけて欲しいこと(Q19)

【男性】

どのグループも「他人のことを思いやる心」について「礼儀正しさ、公共心」を身につけて欲しいと考えている。これに加え、【若年一人っ子家族】では「責任感」、【継続一人っ子家族】、【複数子家族】では「知識・教養」が挙げられている。

【若年一人っ子家族】は他グループに比べ「礼儀正しさ、公共心」を望んでいるが、「知識・教養」や「生きる力」を望む人は相対的に少なくなっている。

【女性】

「他人のことを思いやる心」について「礼儀正しさ、公共心」が多いのは男性と同様である。男性と異なっているのは「知識・教養」より、「生きる力」が多いことである。

各グループの傾向は男性と同じである。

図表4-7. 子どもに身につけて欲しいこと(回答3つまで)(基数:全体)

	既婚男性			既婚女性		
	若年一人っ子家族	継続一人っ子家族	複数子家族	若年一人っ子家族	継続一人っ子家族	複数子家族
各グループN=150						
他人のことを思いやる心	64.0	49.3	60.0	70.0	66.7	66.0
礼儀正しさ、人に迷惑をかけない公共心	54.7	48.0	48.7	54.0	48.7	56.7
知識・教養	23.3	36.7	32.7	20.7	26.0	32.7
生きる力	18.7	30.7	28.7	29.3	37.3	34.7
責任感	24.0	20.0	24.7	19.3	20.7	14.7
自分の意見を言える表現力	20.0	22.0	20.7	24.7	24.7	27.3
協調性	18.7	12.0	12.7	18.0	8.0	8.0
創造性	16.0	20.7	16.0	13.3	4.7	11.3
精神力	14.0	10.0	12.0	14.7	12.0	12.0
公正さ・正義感	10.7	16.7	12.0	6.7	7.3	3.3
実行力	4.7	4.7	9.3	3.3	8.7	12.0
ユーモアのセンス	6.0	5.3	6.7	4.7	4.7	2.7
国際性	6.7	4.0	4.0	4.7	3.3	5.3
独立心	5.3	5.3	4.7	2.0	8.0	3.3
目上の人を敬う精神	6.0	6.0	4.0	2.0	1.3	0.7
先祖を敬う精神	3.3	1.3	3.3	2.0	5.3	3.3
愛国心	0.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.7	2.7	0.0	0.7	1.3	2.0

4-8. 子どもに関する不安(Q20)

【男性】

子どもに関する最大の不安は「健康面や病気」「怪我や事故」である。これらの不安は未就学児のいる【若年一人っ子家族】で特に強い。この他、【若年一人っ子家族】では「いじめ問題」や「犯罪に巻き込まれる」ことも大きな不安になっている。

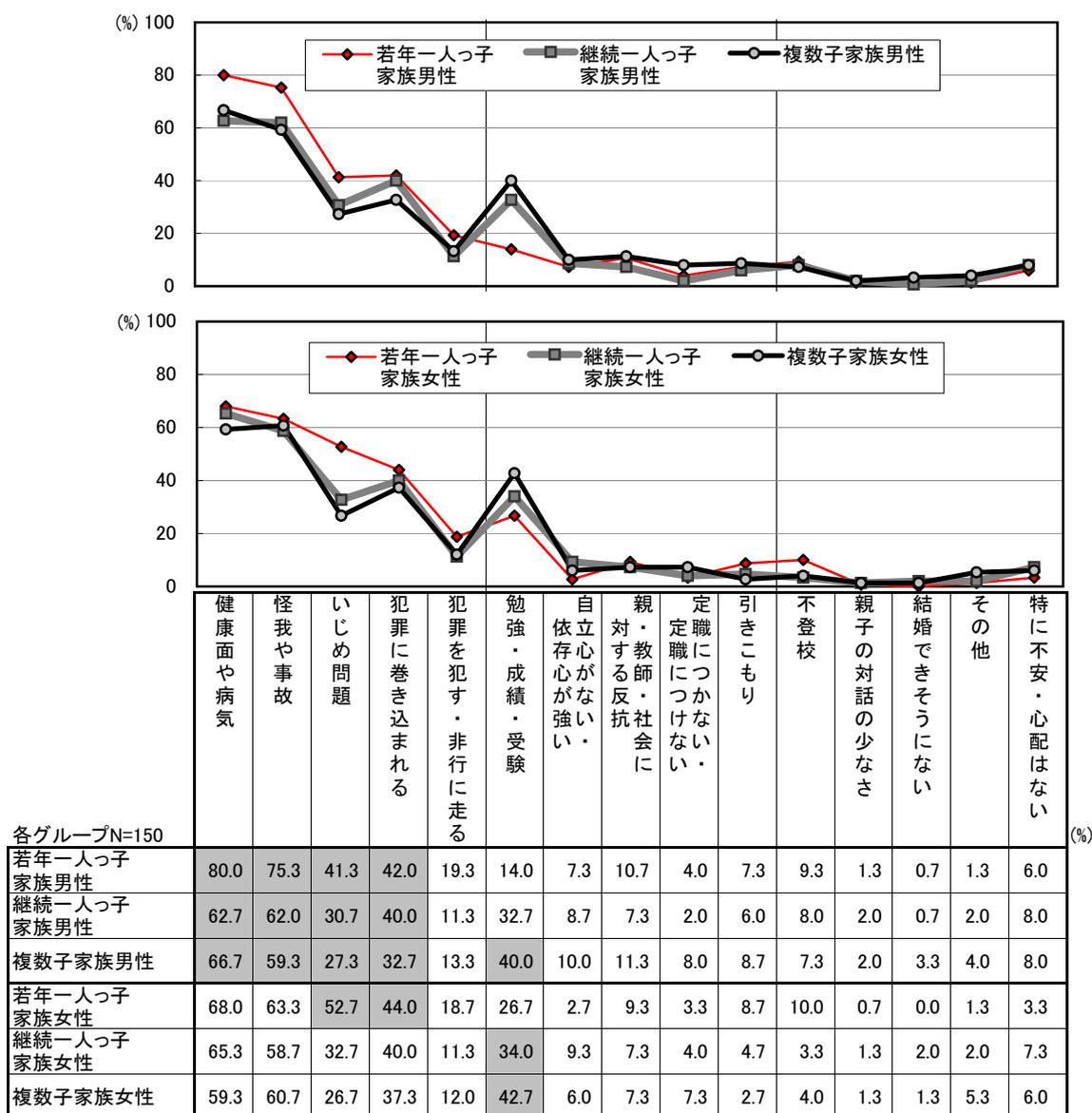
一方、【継続一人っ子家族】、【複数子家族】では、「いじめ問題」「犯罪に巻き込まれる」こともさることながら、「勉強・成績・受験」の不安が大きくなっている。

【女性】

男性同様、【若年一人っ子家族】では「いじめ問題」「犯罪に巻き込まれる」ことに、【複数子家族】では「勉強・成績・受験」に不安を感じる人が目立って多い。

なお、【継続一人っ子家族】の「勉強・成績・受験」に対する不安は【複数子家族】ほど強くない。

図表4-8. 子どもに関する不安(複数回答)(基数:全体)



4-9. 理想の子ども数と今後持つつもりの子どもの数(Q21)

4-9-1. 理想の子ども数(Q21-①)

【男性】

理想の子ども数を見ると、一人っ子家族では「2人」と答えた人が最も多く、6割強となっている。

【複数子家族】では「3人」が6割弱で最も多い。現在の子ども数にあと一人加えた人数が理想の子ども数になっている。

【女性】

一人っ子家族では「2人」と答えた人が、【複数子家族】では「3人」と答えた人が、男性同様、最も多い。

4-9-2. 今後、子どもをもうける意思(Q21-②)

【男性】

今後、子どもをもうけたい意向のある人は、【若年一人っ子家族】では、76.7%と多いが、【継続一人っ子家族】では19.3%に留まり、理想との間に大きな乖離が見られる。

【複数子家族】で、今後更に子どもをもうけたいとする人は5.3%に過ぎない。

なお、【若年一人っ子家族】が今後もうけたい子どもの数は「1人」が多く、「2人」は少ない。

【女性】

今後、子どもをもうけたい意向のある人は、【若年一人っ子家族】では、58.0%と半数を超える。

【継続一人っ子家族】では20.7%、【複数子家族】では2.7%である。

どのグループについても、男性より意向者は少なくなっている。

図表4-9. 理想の子ども数、今後子どもをもうける意思(各単数回答)(基数:全体)

各グループ N=150	理想の子ども数				今後子どもをもうける意向率	今後もうける予定の子ども数		平均子ども数			理想より少ない人の比率が
	1人	2人	3人	4人以上		1人	2人以上	理想の人数	持つつもりの人	理想と持つつりとの差	
	%	%	%	%							
若年一人っ子家族男性	4.0	61.3	32.0	2.7	76.7	62.7	14.1	2.34	1.93	0.41	38.0
継続一人っ子家族男性	6.0	64.0	28.0	1.3	19.3	18.7	0.7	2.23	1.20	1.03	82.0
複数子家族男性	0.0	33.3	57.3	8.7	5.3	4.7	0.7	2.75	2.41	0.34	38.0
若年一人っ子家族女性	7.3	51.3	39.3	2.0	58.0	50.7	7.4	2.36	1.66	0.70	58.0
継続一人っ子家族女性	5.3	48.7	40.7	4.6	20.7	19.3	1.3	2.46	1.22	1.24	86.0
複数子家族女性	0.0	27.3	64.7	8.0	2.7	2.7	0.0	2.81	2.45	0.36	42.6

4-10. 今後持つ予定の子ども数が理想より少ない理由(Q22-SQ)

【男性】

持つ予定の子ども数が理想より少ない人の割合は、【若年一人っ子家族】、【複数子家族】では4割弱に留まるが、【継続一人っ子家族】では8割に達している。(前ページ 図表4-9参照)

各グループ別に理想より少ない理由をみると、【若年一人っ子家族】では「経済的負担が大きい」が最大の理由になっている。これに「健康・体力に自身がない」「家が狭い」などが続くが、いずれも割合は1割強にとどまっている。

【継続一人っ子家族】でも「経済的負担が大きい」ことが最大の要因であることに変わりはないが、その割合は他グループに比べ低い。障壁になっているのは「子どもができない」「高年齢出産になる」ことである。

【複数子家族】では「経済的負担が大きい」の他に「高年齢出産になる」「時間のゆとりがない」ことが大きな要因になっている。

【女性】

持つ予定の子ども数が理想より少ない人は、男性同様、【継続一人っ子家族】に多く見られる。

各グループ別に理想より少ない理由をみると、【若年一人っ子家族】では「経済的負担が大きい」ことが最大の理由である。この他「健康・体力に自信がない」「配偶者の協力が期待できない」ことも比較的大きな障壁となっている。

【継続一人っ子家族】では「経済的負担が大きい」ことよりも「高年齢出産になる」「子どもができない」「健康・体力に自信がない」など身体的な要因が大きい。「子どもができない」は【複数子家族】には全くみられない理由である。

図表4-10-1. 今後持つ予定の子ども数が理想より少ない理由・ベスト5(複数回答)
(基数:理想より持つ予定数が少ない人および子どもは持たない人)

	順位	若年一人っ子家族 男性n=57 女性n=87		継続一人っ子家族 男性n=123 女性n=129		複数子家族 男性n=57 女性n=64	
		理由	%	理由	%	理由	%
男性	1位	経済的負担が大きいから	73.7	経済的負担が大きいから	41.5	経済的負担が大きいから	73.7
	2位	健康・体力に自信がないから	14.0	高年齢出産になるから	37.4	高年齢出産になるから	47.4
	3位	家が狭いから	14.0	子どもができないから	21.1	時間のゆとりがなくなるから	17.5
	4位	子どもができないから	12.3	健康・体力に自信がないから	15.4	心理的負担が大きいから	15.8
	5位	心理的負担が大きいから	12.3	末子が定年退職までに成人して欲しいから	13.0	家が狭いから	15.8
女性	1位	経済的負担が大きいから	66.7	高年齢出産になるから	44.2	経済的負担が大きいから	62.5
	2位	健康・体力に自信がないから	26.4	経済的負担が大きいから	39.5	高年齢出産になるから	40.6
	3位	配偶者の育児への協力が期待できないから	23.0	健康・体力に自信がないから	34.9	健康・体力に自信がないから	37.5
	4位	子どもができないから	17.2	子どもができないから	34.9	時間のゆとりがなくなるから	20.3
	5位	時間のゆとりがなくなるから	16.1	時間のゆとりがなくなるから	12.4	心理的負担が大きいから	14.1

図表4-10-2. 今後持つ予定の子ども数が理想より少ない理由(複数回答)

(基数:理想より持つ予定数が少ない人および子どもは持たない (%))

	男性			女性		
	家若 族年 男一 性人 っ 子	家継 族統 男一 性人 っ 子	複 数子 家 族 男 性	家若 族年 女一 性人 っ 子	家継 族統 女一 性人 っ 子	複 数子 家 族 女 性
	(n=57)	(n=123)	(n=57)	(n=87)	(n=129)	(n=64)
経済的負担が大きいため	73.7	41.5	73.7	66.7	39.5	62.5
高年齢出産になるから	5.3	37.4	47.4	12.6	44.2	40.6
健康・体力に自信がないから	14.0	15.4	14.0	26.4	34.9	37.5
子どもができないから	12.3	21.1	0.0	17.2	34.9	0.0
心理的負担が大きいため	12.3	10.6	15.8	14.9	7.0	14.1
時間のゆとりがなくなるから	10.5	5.7	17.5	16.1	12.4	20.3
将来が子どもにとってよい環境とは思えない	5.3	9.8	1.8	11.5	6.2	4.7
子どもを育てる自信がないから	1.8	2.4	1.8	2.3	4.7	6.3
自分の人生を生きるのに精一杯だから	3.5	3.3	0.0	3.4	1.6	3.1
家が狭いから	14.0	7.3	15.8	11.5	6.2	7.8
結婚する気がないから	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
末子が定年退職までに成人して欲しいから	5.3	13.0	7.0	4.6	5.4	6.3
配偶者の育児への協力が期待できないから	1.8	1.6	0.0	23.0	10.1	10.9
他にやりたいことがあるから	0.0	1.6	3.5	3.4	3.1	3.1
夫婦2人だけの生活を楽しみたいから	1.8	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0
配偶者との性関係がなくなったから	3.5	10.6	0.0	8.0	11.6	3.1
もともと子どもが好きではないから	0.0	0.8	0.0	1.1	2.3	1.6
自分の仕事に差しつかえるから	1.8	2.4	3.5	3.4	1.6	10.9
近くに保育所や、預けられる親がないから	3.5	2.4	3.5	5.7	3.1	3.1
子どもを虐待してしまいそうだから	0.0	1.6	0.0	0.0	0.8	0.0
勤め先などが出産・育児に対して理解がない	1.8	0.8	0.0	2.3	0.8	3.1
その他	12.3	6.5	1.8	5.7	4.7	10.9
無記入	3.5	3.3	1.8	1.1	1.6	3.1

4-11. 持ちたい子どもを育てるのに必要な最低限の年収(Q23)

最終的に持つつもりの子どもの人数を育てるのに必要な最低限の年収を聞いた。

【男性】

持つ子どもの人数別にみると、「1人」育てるのに必要な最低年収は平均で597万円、「2人」では平均658万円、「3人」では平均652万円となる。

「1人」と「2人」とでは60万円ほどの開きがあるが、「2人」と「3人」の間にはほとんど差はない。

【女性】

子どもの人数が増えるほど、必要な年収の平均は高くなる傾向がある。

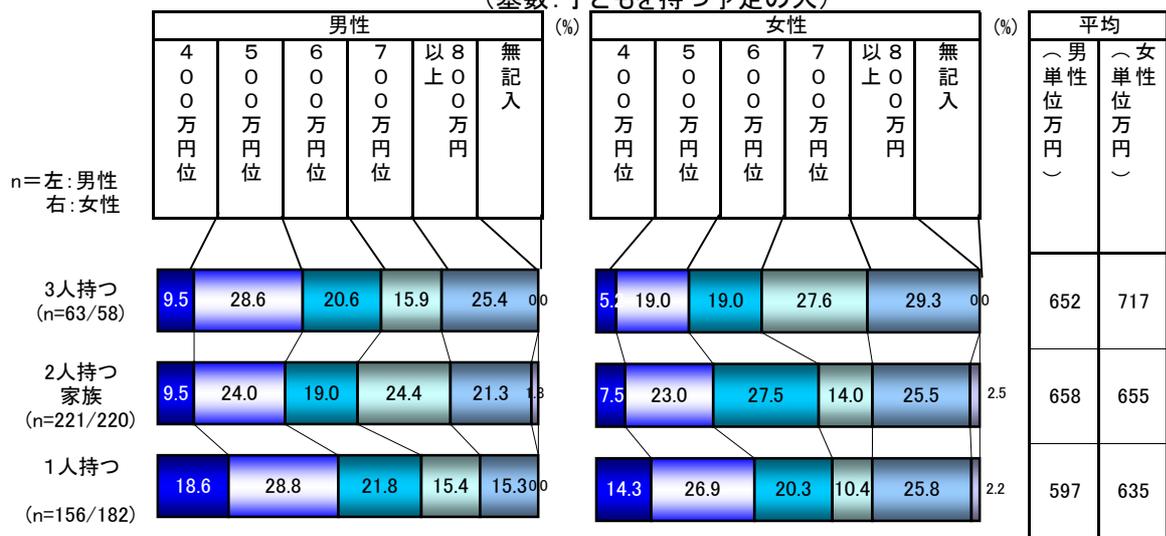
男性とは異なり、「2人」と「3人」の間に大きな開きが見られる。

次に、子どもを2人育てるつもりの人に着目して、グループ別に必要な年収をみると、男女とも

【若年一人っ子家族】で平均年収が低くなっている。

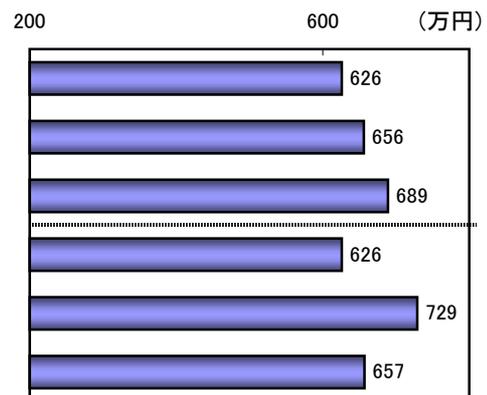
図表4-11. 持ちたい子ども数を育てるのに必要な最低限の年収(単数回答)

(基数: 子どもを持つ予定の人)



	子どもを育てるのに必要な年収の下限・平均				基数			
	全体	3人持つ	2人持つ	1人持つ	全体	3人持つ	2人持つ	1人持つ
若年一人っ子家族男性	626	663	626	591	150	19	94	35
継続一人っ子家族男性	609	600	656	599	150	1	28	121
複数子家族男性	672	649	689		150	43	99	
若年一人っ子家族女性	608	680	626	567	150	10	76	63
継続一人っ子家族女性	682	800	729	669	150	2	29	119
複数子家族女性	682	722	657		150	46	95	

<「2人育てる」のに必要な最低限の平均年収>



4-12. 第1子誕生の理想の年齢と誕生年齢(Q24)

4-12-1. 第1子誕生の理想の年齢と誕生年齢(Q24-1)

【男性】

第1子誕生の理想の年齢は、どのグループも20代が多く、30代と答える人は少ない。特に、

【複数子家族】では2割に留まる。

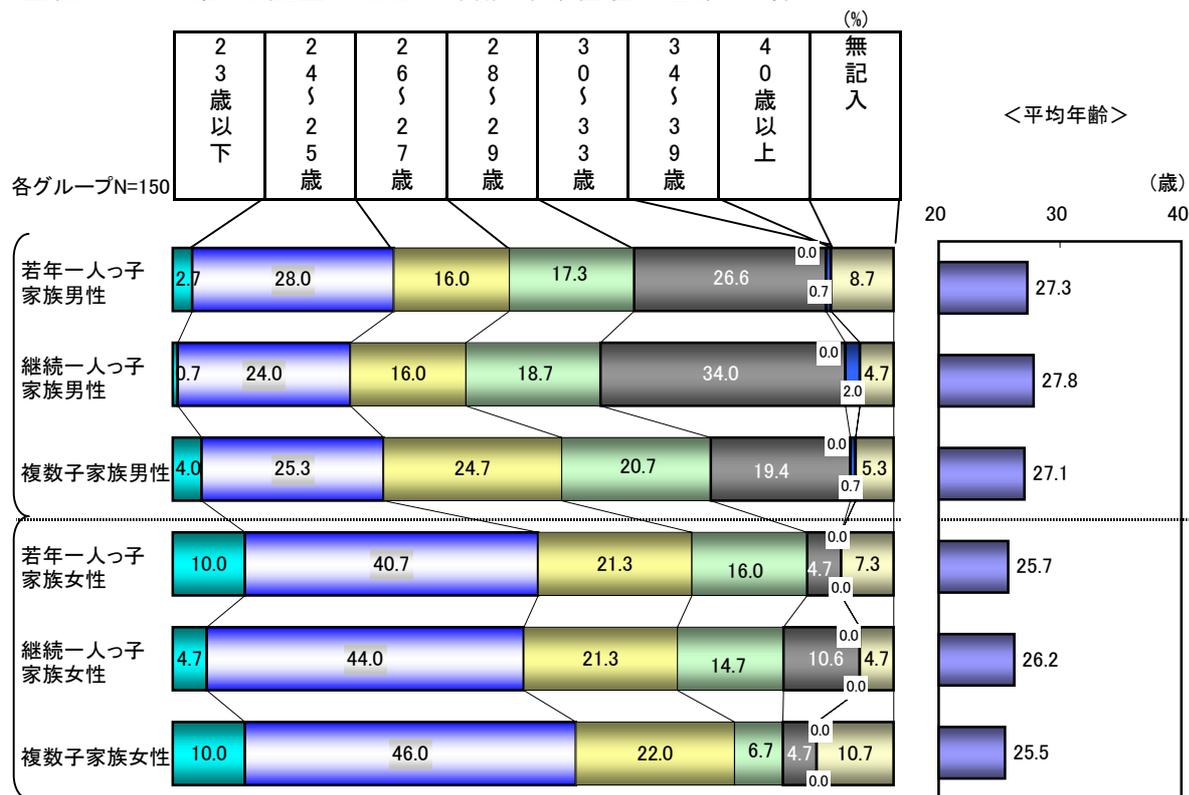
平均年齢は、どのグループも27歳台である。

【女性】

女性では、「24～25歳」と答える人がどのグループでも4割を超えている。

平均年齢は、【複数子家族】が25.5歳と最も若く、【継続一人っ子家族】の26.2歳を0.7歳下回っている。

図表4-12-1. 第1子誕生の理想の年齢(単数回答)(基数:全体)



4-12-2. 第一子誕生の年齢(Q24-2)

【男性】

【継続一人っ子家族】では「34歳」を超えてから第一子が誕生した人が4割近く存在する。
平均年齢も32.1歳と30歳を超える。

【複数子家族】の第1子誕生年齢は平均29.0歳で、【若年一人っ子家族】より1歳ほど若い。

【女性】

【継続一人っ子家族】では「20代」で産んだ人と「30歳」以上で産んだ人がほぼ拮抗している。
平均出産年齢は30.1歳で、【複数子家族】(27.0歳)および【若年一人っ子家族】(27.1歳)
より3歳ほど上回っている。

男女とも【継続一人っ子家族】では理想の誕生年齢との開きが大きい。

図表4-12-2. 第1子誕生の年齢(単数回答)(基数:全体)

